

# アイブロシン®水溶散

チルパロシン酒石酸塩(酒石酸酢酸イソ吉草酸タイロシン)

成分・分量	チルパロシン酒石酸塩(酒石酸酢酸イソ吉草酸タイロシン) 1g中チルパロシン(酢酸イソ吉草酸タイロシン)として850mg(力価)	(取扱い及び廃棄のための注意) <ul style="list-style-type: none"> <li>食品と区別して保管すること。</li> <li>本剤の保管は直射日光及び高温を避けること。</li> <li>使用期限を過ぎたものは使用しないこと。</li> <li>使用時に本剤を飲水へ溶解すること。</li> <li>小児の手の届かないところに保管すること。</li> <li>誤用を避け、品質を保持するため、他の容器に入れかえないこと。</li> <li>使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li> <li>本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。</li> </ul>
効能・効果	有効菌種…マイコプラズマ 適応症…鶏:呼吸器性マイコプラズマ病	2.使用に際して気を付けること (使用者に対する注意) <ul style="list-style-type: none"> <li>誤って本剤を飲み込んだ場合は、直ちに医師の診察を受けること。</li> <li>起炎性があるとの文献報告があることから、作業時には、防護メガネ、マスク、手袋等の防護具を着用し、目、鼻、口等に入らないよう注意すること。</li> </ul>
用法・用量	飲水1L当たりチルパロシンとして下記の量を均一に溶かして3~5日間経口投与する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>鶏(産卵鶏を除く) 200mg~250mg(力価)</li> </ul>	(鶏に関する注意) <ul style="list-style-type: none"> <li>副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。</li> </ul>
使用上の注意	<p><b>【基本的事項】</b> 1.守らなければならないこと (一般的注意)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本剤は要指示医薬品であるので獣医師等の処方箋・指示により使用すること。</li> <li>本剤は効能・効果において定められた適応症の治療にのみ使用すること。</li> <li>本剤は定められた用法・用量を厳守すること。なお、用法・用量に定められた期間以内であってもそれを反復する投与は避けること。</li> <li>本剤の使用に当たっては、治療上必要な最小限の期間の投与に止めること。</li> <li>本剤は、「使用基準」の定めるところにより使用すること。</li> </ul> <p>注意:本剤は医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第83条の4の規定に基づき上記の用法及び用量を含めて使用者が遵守すべき基準が定められた動物用医薬品ですので、使用対象動物(鶏:産卵鶏を除く)について、上記の用法及び用量並びに次の使用禁止期間を遵守してください。 鶏(産卵鶏を除く):食用に供するためにと殺する前5日間</p>	<p><b>【専門的事項】</b> 1.重要な基本的事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本剤の使用にあたっては、耐性菌の発現等を防ぐため、原則として感受性を確認し、適応症の治療上必要な最小限の期間の投与にとどめること。</li> </ul>
	包装	500g(力価) [25g(力価) × 20分包] アルミ袋、紙箱入
	貯法	室温保存、気密容器
	有効期間	36ヶ月

2111-03

マクロライド系抗生物質製剤

# アイブロシン®水溶散

チルパロシン酒石酸塩(酒石酸酢酸イソ吉草酸タイロシン)



吸収が早く、高濃度に組織へ移行し、  
鶏マイコプラズマ病にすぐれた効果を発揮します。

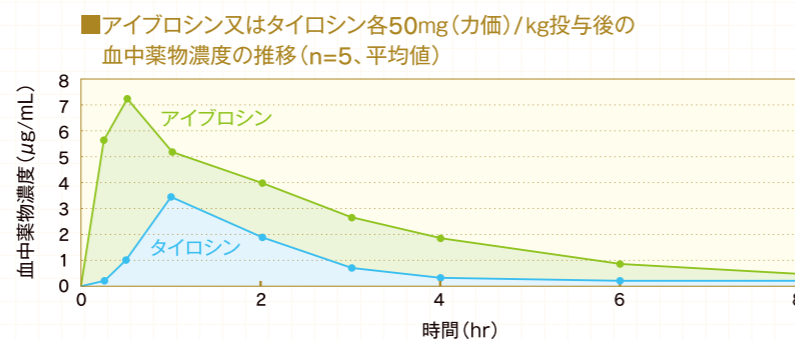


## 特長

- 1 本剤は「マクロライド系抗生物質チルバロシン酒石酸塩(酒石酸酢酸イソ吉草酸タイロシン)」を有効成分として含有する製剤です。
- 2 アイブロシンはマイコプラズマ及びグラム陽性菌に強い抗菌力を有します。
- 3 呼吸器性マイコプラズマ病に優れた効果を示します。
- 4 他のマクロライド系抗生物質の低感受性および耐性マイコプラズマにも有効です。
- 5 消化管からの吸収が良く、高濃度に組織へ移行し、すばやく作用します。
- 6 代謝物である3-AT(3-Acetyl Tylosin)も抗菌及び殺菌作用を有しますので、血中及び組織内の有効薬物濃度がより持続します。
- 7 マクロファージの増殖を促進し、また、マクロファージ内に薬物が取り込まれ、感染部位で殺菌的に作用します。
- 8 溶解性に優れております。

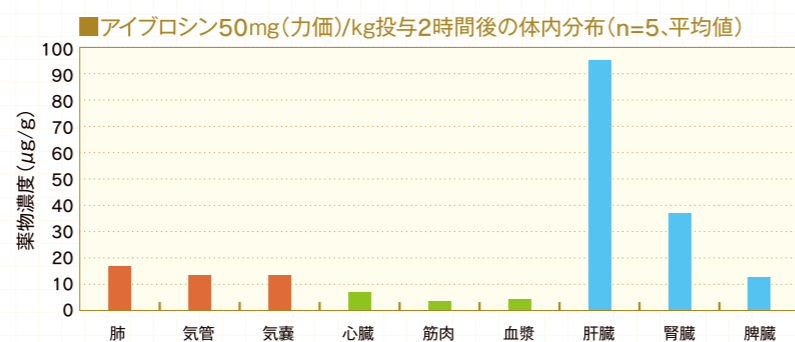
## アイブロシンの血中濃度の推移

アイブロシンの大きな特長は、速やかに吸収され投与30分後に最高血中濃度に達し、AUC(血中濃度曲線下面積)はタイロシンの約3倍に達します。



## アイブロシンの体内分布

アイブロシンは投与後、速やかに薬物が各臓器組織に移行し、肺、気管、気嚢には心臓、筋肉、血漿よりも高い濃度で移行することから、呼吸器系疾患に適しています。



## 鶏白血球への薬物移行

薬物添加後、アイブロシンは鶏白血球にタイロシンより多く取り込まれ、細胞内で殺菌的に作用します。



## マイコプラズマ・ガリセプティカム抗生物質耐性株※に対するMIC

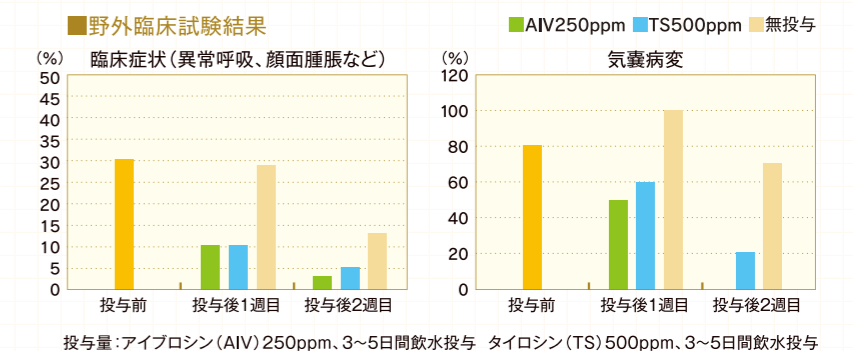
マイコプラズマ抗生物質耐性株に対してもアイブロシンは強い抗菌力を示します。

株	アイブロシン (µg/mL)	タイロシン (µg/mL)	エリスロマイシン (µg/mL)
日本株			
E-5	0.62	10.0	100
E-11	0.31	5.0	100
A-68	0.31	2.5	100
A-72	0.31	2.5	100
ヨーロッパ株			
14350-94	0.06	2.0	
14267-95	0.125	2.0	
B139-02	0.125	2.0	
B141-02	0.25	4.0	

※MIC値が2µg/mL以上のものは耐性株と見なされています。

## 鶏呼吸器性マイコプラズマ病に対する野外臨床試験

マイコプラズマ野外感染鶏群に対してアイブロシン飲水投与は有効であり、タイロシンより優れており、投与終了2週間後ではアイブロシンにおいてマイコプラズマは検出されませんでした。



## 基準投与量

飲水1L当たりチルバロシン(酢酸イソ吉草酸タイロシン)として200~250mg(力価)を均一に溶かして3~5日間経口投与します。

●採卵鶏(種鶏)育成		●ブロイラー		●ブロイラー用種鶏	
週齢	アイブロシン水溶液 1,000羽1日当たり投与量 g(力価)	週齢	アイブロシン水溶液 1,000羽1日当たり投与量 g(力価)	週齢	アイブロシン水溶液 1,000羽1日当たり投与量 g(力価)
2	7~9	2	12	2	11~13
4	12~15	3	18	4	18~23
6	17~21	4	24	6	21~27
8	21~26	5	30	8	24~30
10	22~28	6	36	10	30~37
12	25~32	7	42	12	33~41
14	28~35			14	36~46
16	30~38			16	42~52
18	32~41			18~20	44~55
20	36~45			成鶏	56~70
種鶏・成鶏	40~50				